

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	バス運行事業（美原区域路線バス運行事業）	事業番号	017-021
担当部署名	建築都市 局 交通 部	公共交通担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け		施策との関連		有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			
1	堺市基本計画 2025	有	取組の方向性		⑤生活基盤としての公共交通の維持確保						
		寄与するKPI	有・無	指標名	—						
	無	現状値	—		目標値	—					
	堺市SDGs 未来都市計画	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.2				
有		取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化								
寄与するKPI	有・無	指標名	—								
無	現状値	—		目標値	—						
2	関連計画	—									
3	事業開始年度	平成 17 年度			点検年度	令和 7 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—									
事業の概要											
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁									
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、路線バス利用者（令和3年度延べ年間利用者数：590,295人）					対象数	590,295		単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	美原区域住民の最寄りの鉄道駅への移動手段を確保することによって、住民福祉の一層の向上を図る。									
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>堺市とバス事業者（南海バス及び近鉄バス）が協定を締結し、バス事業者が下記市内鉄道駅と美原区内を結ぶ4路線を運行している。市は運行経費から運賃収入や国庫補助金等を控除した差額を負担している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○美原金岡線 地下鉄新金岡駅前～美原区役所前（南海バス） 平成17年2月1日運行開始 約13.8km 運賃170～360円 36/33便（平日/休日） ○美原初芝線 初芝駅前～美原区役所前（南海バス） 平成17年2月1日運行開始 約10.8km 運賃170～260円 36/32便（平日/休日） ○北野田さつき野線 北野田駅前～さつき野東（近鉄バス） 平成17年5月30日運行開始 約11.6km 運賃170～300円 38/25便（平日/休日） ○北野田多治井線 北野田駅前～多治井循環（南海・近鉄バス 共同運行） 平成18年9月25日運行開始 約13.6km 運賃170～310円 34便（全日） 									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—									
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社									
10	公民連携・協働事業	民間路線バス事業者と共同事業として実施し、市の負担を軽減している。									

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定									
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	回	実績		目標	目標	点検年度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
				目標値	242	242	242		
	実績値	242	242						
達成率	—	100%							
	当該指標を選定した理由	移動手段の確保を目的としているため、運行回数を成果指標とする。							
	目標値の設定根拠・算出方法	現行の1日平均運行回数を維持。平日254回と土休日214回として加重平均で算出。							
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	人	実績		目標			
				令和2年度	令和3年度	令和4年度			
				目標値	700,000	562,000	700,000		
	実績値	561,740	590,295						
達成率	80%	105%							
	当該指標を選定した理由	バス利用者数が増加するほど、バス路線の維持に寄与するため。							
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度は目標を達成していることから、コロナ禍前の令和元年度実績と同水準の利用者数を目標とす							

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	バス運行事業（美原区域路線バス運行事業）	事業番号	017-021
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）			
項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	147,907	171,345	178,107	154,112	159,486
13 財源内訳	国支出金				3,674
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
一般財源	147,907	171,345	178,107	154,112	155,812
14 人件費 (b)	4,050	2,460	2,460	2,460	4,920
15 年間経費(c)=(a)+(b)	151,957	173,805	180,567	156,572	164,406

事業費の内訳		（単位：千円）							
項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R3	R4			
16 事業費内訳	美原区域路線バス運行負担金	R3 決算	154,112	154,112		R3	決算		
		R4 予算	151,937	151,937		R4	予算		
	停留所関連工事	R3 決算	0	0		R3	決算		
		R4 予算	200	200		R4	予算		
	地域公共交通維持・確保にかかる基礎資料作成業務【新規】	R3 決算	0	0		R3	決算		
		R4 予算	7,349	3,675		R4	予算		
		R3 決算				R3	決算		
		R4 予算				R4	予算		
	R3 決算				R3	決算			
	R4 予算				R4	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和2年度	令和3年度
17	①	美原区域路線バス年間利用者数	人	561,740	590,295
	②	上記①にかかる年間経費	千円	173,805	156,572
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	309	265
備考（算出についての説明等）					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和3年度は令和2年度に比べ、高齢者の利用（おでかけ応援制度）は減少したものの、その他の利用により、全体の利用者数は回復し、運賃収入が増加したため、前年度より年間経費(市負担額)が減少し、利用者一人当たりの経費も減少した。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>コロナ禍において公共交通の利用者数が令和元年度比で2～3割減少している中、路線バスが主要な移動手段である美原区における当該4路線の利用者数は令和元年度比で約1.6割の減少と需要が高かった。</p> <p>当該4路線について、市が運行経費から運賃収入や国庫補助金等を控除した差額分を負担することにより、美原区域住民の移動手段の維持・確保することができた。</p>